特集

適切な分別でごみから資源へ

日々の生活の中で、私たちはたくさんの種類のごみを排出しています。決められたルールを守り、適切に分別することで、ごみは貴重な資源へと生まれ変わり、排出量を削減するほか、ごみの収集や処理を円滑に行うことができます。今回の特集は、「ごみの分別」がテーマ。さまざまな角度から分別について考えてみませんか。

令和５年度の市のごみ事情

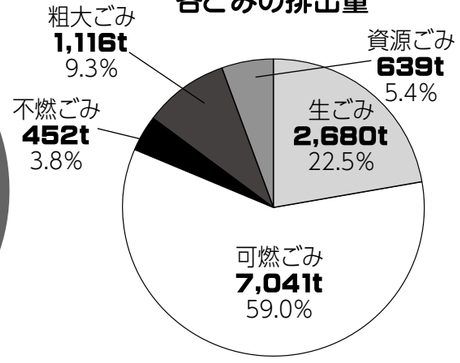
滝川市のごみの年間排出量

11,928 t

中でも、家庭系のごみは8,204 tで、全体の約７割を占めており、市の人口で換算すると１人当たり、毎日611g（おおよそ、食パン一斤分）のごみを排出していることになります。

※家庭系ごみ･･･ 一般家庭などで排出したごみ
※令和６年３月31日時点の人口36,811人で換算

各ごみの排出量



可燃ごみが半分以上を占めていますが、この中には資源ごみの古紙類などが混ざってしまっています。可燃ごみの量を減らして、資源ごみの量が増えるように日々、適切な分別を心がけましょう。

家庭系ごみの収集・運搬・処理にかかる年間費用は

7億1,267万円

ごみを排出すると、さまざまな費用がかかります。費用を抑えるためにも、できる限り分別をして、ごみの排出量を減らすことが大切です。

では、実際にごみを減らすにはどうしたら良いでしょうか？市民の皆さんが今日から取り組めるのが「ごみの分別」です。ごみの分別とその取り組みについて、活動している方々のインタビューや分別したごみの行方を見ていきましょう。

インタビュー

ごみの分別について専門業者と町内会の声を聞きました

資源回収業者
㈱深田商店

昭和26年創業の㈱深田商店さんにお話を伺いました。

皆さんが、分別をしてまとめた資源ごみを回収して開けてみると、正しく分別できている家庭がほとんどですが、誤った分別をしている家庭があるのも現状です。

例えば、古紙類ですが、リサイクルできない紙ごみがあるのはご存じでしょうか。多くある間違いは、加熱紙（レシートなど）や、ピザやケーキなどの汚れがついた包装箱が資源ごみとして分別されていることです。これらは、本来燃えるごみとして捨てなければなりません。

判断が難しいごみもあると思いますが、市の公式ホームページなどで詳しい分別方法が掲載されています。この機会にぜひ一度ご確認いただけたらなと思います。

ほかにも、缶の中にたばこの吸い殻を入れて捨てることや、缶やびんの中身が残っている状態で捨てると、資源にできなくなってしまいます。必ず、中身が残らないように、容器の中を水ですすいでから捨ててください。

皆さんが分別した古紙類は、製紙工場に運び、新しい紙や、お菓子の箱などに再利用されます。再利用することで、ごみの排出を減らし、紙の原料である森林の保護や温室効果ガスの削減にも貢献しています。

これからも、ひとり一人が正しいごみの分別を行い、限りある資源を大切にしてください。

▲作業員の手作業で、禁忌品（古紙類ではないもの）と古紙類の仕分けを行う。

扇町しらかば町内会
リサイクル推進員
鷲尾　輝幸さん

私たちの町内会では、集団資源回収の取り組みと、適切なごみの分別の推進活動を行っていますが、以前は誤った分別をしている方が多くいました。

そこで、皆さんに適切な分別を行っていただくために、毎月の資源回収の際に、誤った分別がないか確認をし、見つけた際にはそのままにせず、町内会として正しい分別の方法や、お願いを記載した書面を作り、回覧板でお知らせしてきました。

現在は、以前よりも誤った分別が少なくなり、回覧板では、分別に協力をしていただいている町内会の方々に感謝の言葉を伝えるようにしています。

私たちは、リングプルの回収にも力を入れています。集めたリングプルを道内の企業に渡すことで、車いすを提供してもらえる取り組みがあります。私たちの町内会では、これまでに、３台の車いすを受け取ることができました。

町内会では、リングプルの収集量や資源回収の目標を設定し、その結果を総会で皆さんに報告しています。これにより、町内会全体で達成感が生まれ、次の目標達成への意欲が高まることで、資源回収などの活動に積極的に取り組んでいただけていると感じます。

また、集団資源回収などを通じて、地域の方々と交流の機会が増えて、町内会自体の活動がより活発になります。ぜひ、町内会の集団資源回収などの取り組みに参加してみてはいかがでしょうか。

皆さんの町内会も集団資源回収を行っているかもしれません。町内会担当者または、くらし支援課☎28-8013までお問い合わせください。

市では、実際にどんなものが資源ごみなのか見てみましょう！

古紙類
段ボール、新聞紙、チラシ、雑誌、紙パック、雑がみなどの古紙類
無料回収

ペットボトル
飲料用、しょう油などのペットボトル類

缶
飲料用、食品、調理用、ペットフードなどの缶類

びん
飲料用、食品、調理用、栄養剤、薬などのびん類

ごみの収集に密着

分別して出したごみの行方は？

今回は、資源ごみのペットボトルが回収されたあと、どのような処理がされるのか密着しました。

スタート

①収集

午前８時ごろから収集業者が、各家庭の資源ごみの回収を始めます。

②搬入

中空知衛生施設組合に搬入し、受入れホッパーに投入します。

③破除袋機（はじょたいき）

破除袋機でごみ袋を破り、ペットボトルとごみ袋に分けます。

④手選別

資源にできないペットボトル（汚れや飲み残しがある）を間引きます。

⑤圧縮成形機

圧縮し、固めて１つにまとめます（500ml ペットボトル約 500 本分）。

⑥保管

資源回収業者に渡せる状態にして、保管をします。

各メーカーで新しい製品へ

不適切な分別で起きる事故

市では、ごみの分別誤りによって、ごみ収集車が燃えるなどの事故が起こっています。

令和5年11月に発生した、ごみ収集車火災事故は、燃えないごみの中に、本来「特定品目」に分類される、ガス缶が混入されていたことが原因です。

ほかにも、今年の7月には、中空知衛生施設組合の生ごみ処理施設内で、生ごみの中に、約50㎝の座布団のようなものが混入して、機械に絡まる事故が発生しました。混入物の除去や点検作業を行うため、生ごみ処理は一時中止されました。

その後、施設の運転を再開することができましたが、状況によっては、ごみの収集に多大な影響が出る可能性があります。

何気なく捨てているごみが、大きな事故の原因となるかもしれません。人ごとにはせず、正しく分別できているか見直しましょう。

▲実際のごみ収集車の火災現場。燃えたごみの残骸が散乱している。

家電製品に含まれる小型充電式電池の出し方

スマートフォンなどの家電製品

【特定品目で出す場合】
・家電製品から取り外し、分類①で出してください。
・取り出せない場合は、本体ごと中空知衛生施設組合（リサイクリーン）に搬入してください（有料）。

【回収店に出す場合】
・一般社団法人JBRCの協力店でも回収しています。
※リサイクルマークが書いてあるものに限ります。

特定品目の分類

①電池類、水銀体温計、水銀血圧計　②蛍光管　③ライター、ガス缶、スプレー缶

【特定品目の出し方】
・３種類に分け、透明または半透明な袋に入れてください。

【注意点】
・ガス缶類は、ガス抜きをしてください。
・燃やせないごみとして出した場合は、回収しません。

⚠混ぜたらダメ！特定品目

分別 豆知識

ごみの分別 困ったときは

生活する中で、ごみを捨てる際に何ごみに捨てればいいのか迷ったことはありませんか。

実は、市の指定ごみ袋の表面には、すべてではありませんが、捨てよいごみの種類が、イラストで記載されています。

ほかにも市の公式ホームページには、50音で捨てたいものを選択すると、何ごみか分かる「ごみの分け方検索」や、ごみの分別方法などが記載された「ごみガイドブック」を見ることができますので、ぜひご利用ください。

※ごみガイドブックを冊子で確認したい場合は、くらし支援課までお問い合わせください。

▲燃やせるごみの例が絵で記載してある。

市公式 HP

ごみの分別 出前講座

市職員が皆さんの所に出向き、ごみの分別について講座を開催していることはご存じでしょうか。

出前講座では、古紙類として出せるものと、出せないものを仕分ける分別体験などを交えて、皆さんの疑問にお答えします。町内会や、団体、グループの皆さんで、滝川市のごみの分別や処理について学んでみませんか。

受講料　無料

申込方法　くらし支援課 TEL 28－8013までお問い合わせください。

※申し込みの際に日程や場所を調整します。

不要なパソコンを宅配便で無料回収します。

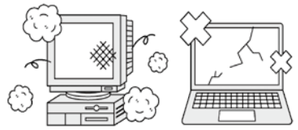
市では、「小型家電リサイクル法」の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル㈱」と連携協定を締結し、パソコン・小型家電を便利に簡単に回収できる宅配便リサイクルの活用を推奨しています。

ご自宅から宅配便で回収！

・インターネット・電話等で申し込み
・段ボール箱などに詰めるだけ
・最短翌日、希望日時に回収（年中無休）
・パソコンの回収は１箱分が無料

データ消去も安心！

・データ消去ソフトを無料で提供
・消去証明書も発行できます
・国が認定した工場で安全にリサイクルします



どんなパソコンでも回収！

・壊れて動かなくてもOK
・どんなに古くても、自作でもOK
・HDD が無いパソコンもOK

詳細、申し込み方法は、市公式ホームページ〔ページ ID：1730〕をご確認ください（右の２次元コードからもアクセスできます）。

毎日の分別意識で変わる未来

私たちが生活をする上で、ごみの排出は避けられません。そのような中で、ごみから資源へと変えることや、ごみの収集・処理を円滑に行うためには、ひとり一人の分別意識と行動が大切です。

今回の特集を機に分別について再確認し、私たちの生活がより良いものになるよう、引き続き適切な分別へのご協力をお願いします。

【特集】適切な分別でごみから資源へ　おわり